

西暦 2026 年 10 月 8 日 第 1 版

当院産婦人科で 40 歳未満で MRI 検査を受けられた患者さんの検体・情報を

研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の当院の問い合わせ窓口までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] AYA 世代における婦人科 MRI：診断アプローチと臨床的意義

[当院の研究責任者] 臨床検査科 産婦人科 元島 成信

[研究の背景]

思春期から若年成人期（AYA 世代）女性の骨盤内は、発育やホルモン変化に伴い子宮や卵巣の形態が大きく変化するため、正常な発育が病気と見分けにくいことがあります。また、この世代特有の腫瘍や卵巣捻転、先天異常なども存在します。超音波検査で診断が難しい場合、放射線被ばくのない MRI 検査が重要となりますが、若年世代に特化した MRI 画像の特徴に関する知見はまだ十分ではありません。

[研究の目的]

当院で骨盤部 MRI 検査を受けられた AYA 世代の患者さんの画像と診療記録を後ろ向きに調査し、正常な成熟に伴う変化と特有の病変における MRI 画像の特徴を明らかにします。

その成果を画像解説論文として発表し、正確な診断と適切な治療の選択、将来の妊娠する力（妊孕性）に配慮した診療の向上に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2013 年 5 月から 2026 年 9 月の間に、当院産婦人科で 40 歳未満で MRI 検査を受けられた患者さん

●研究期間：西暦 2026 年 10 月 8 日から西暦 2028 年 12 月 31 日

●利用する診療情報

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

画像情報：MRI 画像、超音波画像

カルテ情報：最終診断名、検査時年齢、症状、手術様式、病理診断結果

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学術集会や学術誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

臨床検査科 産婦人科 元島 成信

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881